

アサヒキャンプは心にエネルギーをためる大切な場所

Y・M（小6男子保護者 2026年3月記す）

アサヒキャンプの朝は、今日という一日の期待で格別のワクワク感に満ちています。学生カウンセラーとたくさん話して、たくさんほめてもらって、笑い合っって楽しい一日を過ごします。

息子はキャンプが終わると翌日からの登校が不安に思えてくるのですが、次のキャンプの日をカレンダーで何度も確認して、月に一度の魔法の日に向けてがんばろうと前向きになれます。彼にとってアサヒキャンプは心にエネルギーをためる大切な場所です。月に一回のこの日があるから彼は少しずつ前を向いて歩けているのだと思います。

息子は似顔絵が得意で、学校のノートには先生や友だちをたくさん描いています。卒業する円堂、ハイホー、トラムへ似顔絵をプレゼントしたところ、これまでで一番の笑顔で彼らは喜んでくれました。自分の描いた絵が、学生カウンセラーの心に届いたという成功体験が達成感となり、またこの次もという意欲になりました。

12月デイキャンプの帰りの電車の中で「円堂が卒業したらアサヒキャンプの景色が変わる。円堂はひまわりみたいだったから」とポツリと言いました。

記憶に残る人との出会いは人生の宝物です。彼にも懐かしく、あたたかい記憶に残れる人となる人生を歩んでほしいと願っています。

息子はアサヒキャンプで、譲歩、協調、相談、提案、年下のキャンパーのサポートなど、人との関わり方を実体験として遊びの中から学んでいます。

また、同じ悩みを共有して寄り添ってくれる保護者の方々に巡り合える場所でもあります。アサヒキャンプは新しい第一歩を踏む出し、可能性を引き出してくれるかけがえのない居場所です。